

通告順	議席番号	通告者
6	16	熊田芳子

1 住宅用火災警報器等について

平成18年に消防法が改正され、一般住宅への設置が義務付けられてから10年が経つ。そこで以下の4点について伺う。

- (1) 電池の寿命や電子部品などの劣化により、交換時期にきている。町民の方々への周知方法はどのように考えているのか。
- (2) 消防庁の調査でも住宅火災件数や死者も減少している結果が出ている。また、仙台市消防局が昨年度に設置効果の分析を行ったところ、住宅火災1件あたりの損害額や死者数は、住宅用火災警報器の設置により被害軽減の効果が確認された。このことに伴い、町長の見解を伺う。
- (3) 町営住宅に設置されている火災警報器が10年経過しているが、交換する計画はあるのか。
- (4) 高齢者の方々が逃げ遅れて焼死するケースが多く発生しているが、本町では安心・安全を確保するための施策をどう掲げていくのか。

2 子どもの防犯対策について

- (1) 犯罪から子どもを守るために、校門やフェンスなどに防犯カメラを設置する計画はあるのか。
- (2) 子どもが助けを求められることができる民間協力の拠点「子ども110番の家」を増やす考えはあるのか。
- (3) 子どもへの防犯教室は何年生から実施し、どのような内容を教育されているのか。

通告順	議席番号	通告者
7	10	佐藤正司

1 文化財保護政策について

文化財は長い歴史を通した先人の遺産である。特に、国指定史跡三十三間

堂官衙遺跡及び伊達実成公をはじめとする亶理伊達家歴代の貴重な文化財などの歴史・文化遺跡について、次世代へ継承するために保護と保存の重要性を周知するとともに、亶理町の歴史観光資源として活用できる環境整備に努めなければならないと考える。そこで、以下のことについて伺う。

(1) 三十三間堂官衙遺跡について

- ① 発掘調査の成果と問題点は。
- ② 奥州藤原氏の始祖 藤原経清との関連は。

③ あふく かはく 安福河伯、かしまおなた 鹿島緒名太、かしまあまたらしわけ 鹿島天足 和気との関係は。

④ 史跡整備計画は。

(2) 亶理伊達家歴代墓所について

- ① 実元公・実氏公御霊屋の修復計画は。
- ② 歴代領主夫妻墓所の修復計画は。

(3) 文化財保護体制の推進について

(4) 観光資源としての活用について

通告順	議席番号	通告者
8	5	小野典子
<p>1 わたりのブランド戦略について</p> <p>「第5次亶理町総合発展計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、わたりブランドの確立を掲げ、地域資源の掘り起こしによる地域活性化構想を打ち出している。そこで、次のことについて町長の見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) いつから着手するのか、今後のスケジュール案は。(2) どのような組織で戦略を検討していくのか。(3) わたりブランドの活用、発信策をどう考えるのか。		

通 告 順	議席番号	通 告 者
9	7	安 藤 美重子

1 農村創作活動センターの有効活用について

農村創作活動センターは昭和57年に地域の婦人達の農産物の加工所として開所した。現在は、ジャム作り等に利用されるなど利用が少なくなってきた。今ある施設を若い人や加工に興味のある方々に紹介して、有効に活用するために、以下の点について伺う。

(1) 6次産業を促進するためにも、パンフレット等を作って、施設をもっと町民にPRしてはどうか。

(2) 器具の使い方を教える指導員を配置し、農産物の加工実習などを行ってはどうか。

(3) 施設の今後の運営方針について伺う。

2 オリーブを植えてまちづくりを！

亘理町の新しい産業と観光を目指して、オリーブを遊休地や里山に植えて、まちづくりをしてはどうか。

通 告 順	議席番号	通 告 者
10	2	渡 邊 重 益

1 人事管理について

(1) 人材育成について伺う。

① 職員の研修計画について。

② 職員の地域活動参加推進への考えは。

(2) 人事評価制度への取り組み状況について伺う。

(3) 人事異動において、職員の適性把握をどのように行い、適性に合った配置や職員育成につなげているのかを伺う。

2 「亘理町子ども・子育て支援事業計画」について

本町では、「巨理町子ども・子育て支援事業計画」を平成27年3月に策定し、推進に当たっている。そこで以下の点について伺う。

(1) 支援事業計画の進捗は。

(2) 諸課題と今後の対策は。